

③ にいざ市議会だより

みなさんのお家には年に4回、「にいざ市議会だより」が届きます。今回配られるのは5月25日号。字は小さいし、大きな数字は並んでいるし、見慣れない言葉が並んでいるかも知れません。しかし、公平な目で見ることができます。まず注目すべきところは一般質問です。そこにはみなさんが応援した議員の名前が出てきますから、選挙に行った人なら必ず読むはず。しかし、この文章は質問のごく一部。質問の全体を知りたいければ、インターネットを覗く必要があります。一番大事なのがやはり議案に対する各会派の賛否（×）です。5月25日号で言えば、後ろから2ページ目と最後のページ。そこには40の「市長提出議案」に対する各会派の賛否（×）が掲載されています。問題なのはその40の市長提出議案全てに賛成している会派が3会派あることです。語る会は40分の8の議案に反対しています。共産党は40分の11に反対しています。よく、「何でも反対かよ」などと言われていますが、語る会は5分の4、共産党は4分の3に賛成しているのです。困るのは100%賛成してしまう政和会（自民）、公明党、そして刷新の会（無所属、民主）の市長与党です。25人の内19人がこの3会派に所属していることが、今の新座市政を市民の感覚とずれた方向へ動かしているのです。編集後記にも注目して下さい。各会派の代表が実名を出して書いています。短い文章ですが、本音が透けて見えてきます。そういうことを知った上で「にいざ市議会だより」をご覧になると、新座市議会が少し見えてくると思います。そして色々な疑問や厳しい意見が出てくると思うのです。黙ってはいは知らないうちに損をします。どんどんぶつけて欲しい。議員を動かして欲しい。そう思います。市長提出議案に賛成するだけなら、誰でもできます。議場で居眠りをしているもできるのです。「ふざけるな！」も「もっと働け！」「40万円分働け！」と言うことです。働かないから議員報酬を下げる」では、益々働かなくなります。議会報告くらい出せ！」議場で自分の意見を言え！」そう言うことが、議員を鍛え、新座市を良くしていく。僕はそう思っています。

③ 敬一郎先生さようなら

今月19日の朝、中村敬一郎先生が亡くなりました。79歳でした。僕を面接し、五中の教員として採用してくれたのが敬一郎先生でした。そして第五中学校の最初の校長として、大学を出たばかりの僕を3年生の担任にしたのも敬一郎先生。僕はよく敬一郎先生に叱られました。たかむら、人から信頼されるようになれよ、教育長になっても影でいつも僕を応援してくれていたのが敬一郎先生でした。五中や六中のテニス部が関東や全国で活躍し、優勝したときは、本当に喜んでくれました。僕には神宮司久子というお母さんのような先生がいました。神さんも3年前に亡くなって…今度はお父さんのような敬一郎先生が亡くなってしまったのです。もう教師として敬一郎先生に誉めては貰えませんが、たかむら、よくやったな、そう言ってもらえるように、人として、そして議員として頑張ろうと思います。さようなら、敬一郎先生。ありがとうございました！これからずっと雲の上で見守っていてくださいね。

《お知らせ》

黒目川の川掃除を毎月一度しています。次回は6月7日（日）朝9時～11時、栗原一丁目公園集合です。魚類調査も予定しています。途中参加も大歓迎です！トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。楽しいですよ！

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。2004年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会「にいざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・音楽・読書。

ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。

たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106